

## 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の 実績報告について【情報提供】

### 1 事業の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

また、2024 年 4 月からは 4 期目となる新たな 5 か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、2019 年度から 2023 年度までの 5 か年を振り返り、取組の成果をまとめたリーフレットを作成しましたのでご報告いたします。

### 2 お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

### 3 配布資料

- (1) 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 5 か年の実績概要リーフレット
- (2) 5 か年[2019 年度～2023 年度]の区別実績
- (3) 「横浜みどり税」の説明チラシ

#### 【問合せ】

横浜みどりアップ計画の広報に関すること

みどり環境局戦略企画課 TEL: 671-2712 FAX: 550-4093

横浜みどり税に関すること

財政局税務課 TEL: 671-2253 FAX: 641-2775

## 効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



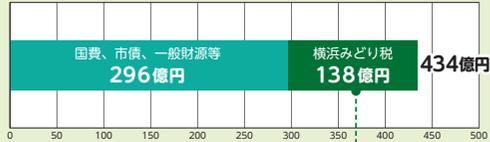
イベントでの広報



広報よこはま 令和6年3月号

## 計画の事業費と横浜みどり税(5か年の累計)

### 5か年(2019~2023年度)の事業費 (うち横浜みどり税)



### 計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

### 横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ  
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ



- #### 柱1 森を育む取組
- ・森を残す(指定・買取り)
  - ・森を育む(維持管理など)
  - ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
  - ・森に親しむ(きっかけづくり)

## 横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama  
みどりアップ  
Action



詳しくはHPを  
ご覧ください

実績報告書はHPをご覧ください。  
区ごとの実績もご覧いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について  
みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について  
【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課  
【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775  
TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481

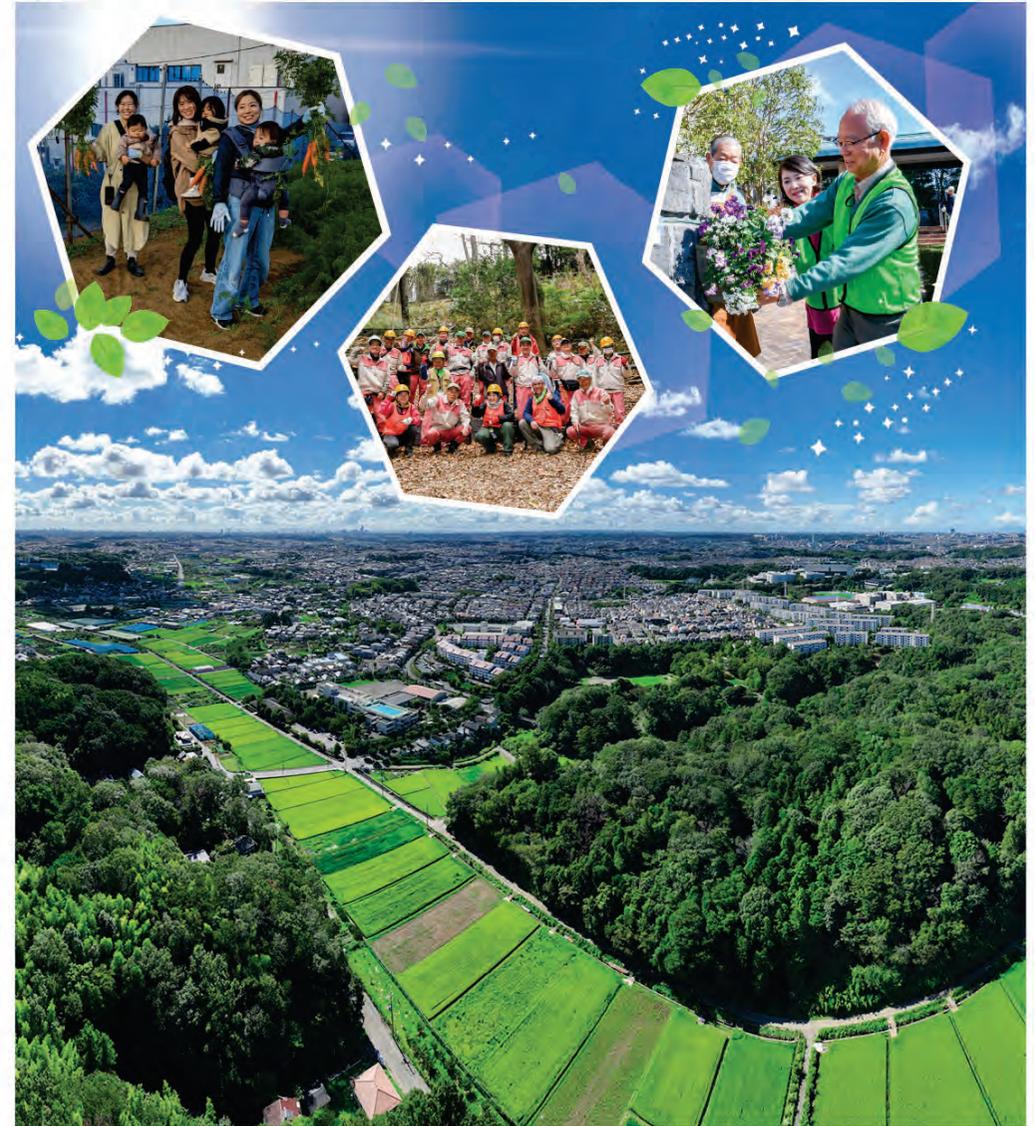


横浜みどりアップ 葉っぱー

令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課

# 横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要(2019年度~2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019~2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



横浜みどりアップ計画



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



計画の柱1

## 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 樹林地の保全が進んでいます

5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画  
(2009~2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前  
(1969~2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019~2023年度  
**176.9ha**

**+ = 1,082.5ha**

▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**

▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区/瀬谷区

### 森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**

▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、  
区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室/  
鶴見区



森の中のプレイパーク/  
南図書館/南区

### 樹林地の維持管理や安全の確保を 市民協働で進めています

樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**

▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラ  
インを活用した維持管理/泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援  
作業前後/旭区



計画の柱2

## 市民が身近に農を感じる場をつくる

### 良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全/青葉区



土砂流出防止対策/都筑区

### 農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**

▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園/神奈川区



認定市民菜園/磯子区

### 地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市/西区



柴シーサイド恵みの里直売所/金沢区



計画の柱3

## 市民が実感できる緑や花をつくる

### 緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**

▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館/磯子区



保育園での緑の創出/港北区

### 緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力を向上させ、賑わいづくりを推進しました。

▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと  
維持管理 **71か所**



横浜市児童遊園地/保土ケ谷区



山下公園/中区

### 市民や企業の皆さんと緑と花の取組を 全区で進めています

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

▶ 地域緑のまちづくり **23地区**

▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組/  
港南区



緑や花を身近に感じる各区の取組/  
栄区

## 市民の森

～計画開始以降16か所の市民の森が開園～

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

～ボランティアの皆さんによる良好な森づくり～

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。



池辺市民の森/都筑区

### 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」 計画期間に開園した4か所の市民の森



長津田市民の森/緑区  
2020年4月1日開園  
クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コゲラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が息づいています。



市沢市民の森/旭区  
2021年4月1日開園  
緑陰や水辺の風景を楽しみながら散策ができるほか、ホテルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森/戸塚区  
2022年3月28日開園  
コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山裾沿いには竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森/保土ケ谷区  
2022年4月1日開園  
クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。

# よこはまの緑を 未来を担う 子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、  
横浜市は、市民・事業者の皆様「横浜みどり税」をご負担いただき、  
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどリアップ計画」を進めています。



## 横浜みどり税について

### 横浜みどり税の 税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

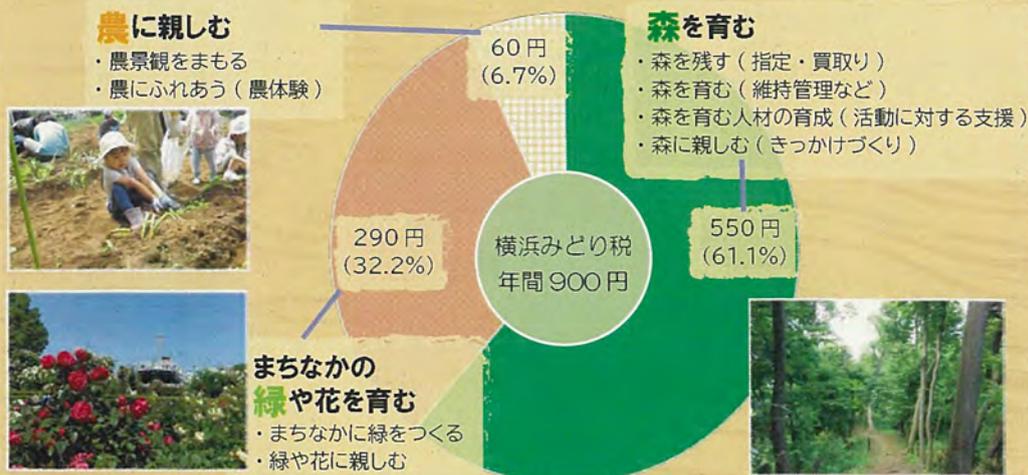


### 横浜みどり税の 使途

「横浜みどリアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- ・樹林地・農地の確実な担保
- ・身近な緑化の推進
- ・維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ・ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

### 横浜みどり税（年間900円）の使いみち



# 横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

横浜みどりアップ計画



## 計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



## 5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

## みどり税を活用した取組

市民とともに  
次世代につなぐ**森**を育む

### 5か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に  
**農**を感じる場をつくる

### 5か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる  
**緑**や花をつくる

### 5か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様が取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開



## 森林環境税（国税）と横浜みどり税

### Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



### A 目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

### ● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和5年度までは、地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

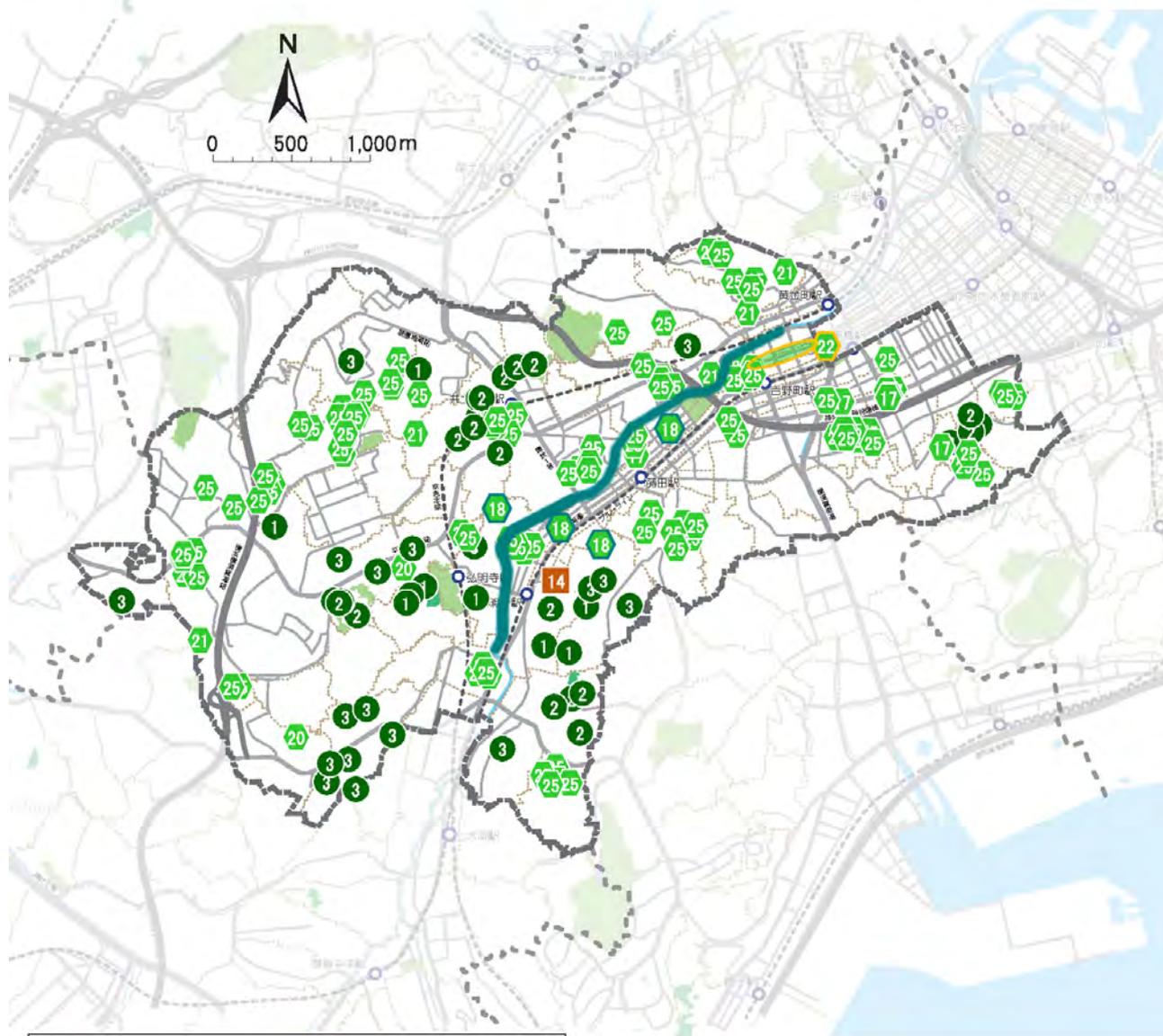
### 【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について  
▶ 区役所税務課 または 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について  
▶ みどり環境局戦略企画課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093

## 南区

### 主な実績

- 1** 緑地保全制度による新規指定 2.1ha
- 14** 直売所・青空市等の支援 1件
- 25** 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 20か所



〈凡例〉	
● 次世代につなぐ森を育む	■ 特別緑地保全地区
■ 農を感じる場をつくる	■ 市民の森・心れあいの樹林
● 実感できる緑や花をつくる	■ 公園緑地
(凡例内の番号は、 取組番号を示します)	— 主な道路
	— 高速道路
	— 鉄道・鉄道駅

- 18** は取組 18 を線的に実施したことを示す
- 22** は取組 22 を面的に実施したことを示す

## 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

### 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

○緑地保全制度による新規指定 2.1ha

- ・特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区

2021年度 1.4ha 中里三丁目特別緑地保全地区

- ・緑地保存地区

2019年度 0.3ha 弘明寺町、六ツ川一丁目

2020年度 0.1ha 永田東二丁目

2021年度 0.1ha 大岡一丁目

- ・その他

2020年度 0.2ha 別所五丁目

○保全した樹林地の整備 5か所

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地（2か所）

2020年度 1か所 大岡特別緑地保全地区

2022年度 1か所 中里三丁目特別緑地保全地区

2023年度 1か所 中里三丁目特別緑地保全地区

### 2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

○森の維持管理 23か所

- ・維持管理（樹林地）

2019年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2020年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2021年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2022年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

2023年度 2か所 大岡三丁目緑地、永田東緑地

- ・維持管理（公園）

2019年度 2か所 唐沢公園、六ツ川中央公園

2020年度 2か所 唐沢公園、南太田四丁目公園

2021年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

2022年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

2023年度 3か所 唐沢公園、南太田四丁目公園、六ツ川中央公園

### 3 指定した樹林地における維持管理の支援

○維持管理の助成 16件

2019年度 5件 大岡五丁目、永田北二丁目（2件）、別所三丁目、六ツ川一丁目

2020年度 3件 弘明寺町、別所二丁目、別所三丁目

2021年度 3件 南太田一丁目、六ツ川一丁目、六ツ川四丁目

2022年度 2件 大岡一丁目、六ツ川一丁目

2023年度 3件 大岡一丁目、別所二丁目、別所三丁目

## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

## 14 地産地消にふれる機会の拡大

○直売所・青空市等の支援 1件

・直売所・加工所

2020年度 1件 大岡町

## 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

## 17 公共施設・公有地での緑の創出・育成

○緑の維持管理 7か所

2019年度 3か所 南区庁舎、中村地区センター、蒔田消防出張所

2020年度 1か所 南区庁舎

2021年度 1か所 南区庁舎

2022年度 1か所 南区庁舎

2023年度 1か所 南区庁舎

## 18 街路樹による良好な景観の創出・育成

○並木の再生

2019年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2020年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2021年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2022年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

2023年度 1路線 大岡川プロムナード（整備中）

○空き樹の補植

2022年度 低木 808本

2023年度 低木 902本

○良好な維持管理

2019年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、中村川プロムナードほか 計628本

2020年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか 計614本

2021年度 県道横浜鎌倉（鎌倉街道）、平戸桜木線ほか 計746本

2022年度 平戸桜木線、永楽町一丁目通り・永真北通り・永真仲通りほか 計640本

2023年度 平戸桜木線、中村川プロムナードほか 計586本

5 各区の実績  
南区

20 建築物緑化保全契約の締結

○建築物緑化保全契約の締結 2件

2019年度 1件 六ツ川一丁目

2020年度 1件 別所五丁目

21 名木古木の保存

○名木古木の保存

・維持管理の助成

2020年度 1本 三春台

2021年度 4本 山王町(2本)、三春台、六ツ川四丁目

2023年度 1本 永田東一丁目

22 地域緑のまちづくり

○地域緑のまちづくり事業に関する協定の締結 1地区

・新規

2021年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

・継続

2022年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

2023年度 1地区 お三の宮通り周辺地区

23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

○緑や花を身近に感じる各区の取組

2019年度 大岡公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2020年度 阪東橋公園・餅井坂公園での桜の更新、公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2021年度 公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2022年度 公園愛護会活動周知看板の設置、公園愛護会への花苗の支援

2023年度 区役所周辺の緑化・PRパネルによる魅力アップ、公園愛護会への花苗の支援

○地域の花いっぱいにつながる取組

2019年度 花の種の配布、花苗などの配布(蒔田公園ほか6か所)

2020年度 球根などの配布(東橋公園ほか78か所)

2021年度 球根などの配布(池下橋公園ほか86か所)

2022年度 球根などの配布(池下橋公園ほか74か所)

2023年度 球根などの配布(東橋公園ほか95か所)

## 24 人生記念樹の配布

○人生記念樹の配布 1,019本

2019年度 175本

2020年度 187本

2021年度 252本

2022年度 200本

2023年度 205本

## 25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

○緑の創出 20か所

2019年度 3か所 日枝小学校、南吉田小学校、六つ川小学校

2020年度 5か所 井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、日枝小学校、六つ川台小学校

2021年度 6か所 青山学院横浜英和小学校、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、日枝小学校、南小学校

2022年度 3か所 大岡小学校、永田台小学校、南中学校

2023年度 3か所 清水ヶ丘保育園、中村小学校、六つ川中学校

○緑の維持管理 89か所

2019年度 16か所 井土ヶ谷保育園、清水ヶ丘保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、平楽中学校

2020年度 18か所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、別所小学校、蒔田小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、共進中学校、蒔田中学校

2021年度 16か所 井土ヶ谷保育園、しろばら保育園、永田保育園、三春台保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南太田小学校、六つ川西小学校、永田中学校、平楽中学校

2022年度 16か所 しろばら保育園、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、中村小学校、永田小学校、永田台小学校、日枝小学校、藤の木小学校、蒔田小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、平楽中学校、南中学校

2023年度 23か所 しろばら保育園、井土ヶ谷保育園、永田保育園、石川小学校、井土ヶ谷小学校、大岡小学校、太田小学校、日枝小学校、蒔田小学校、中村小学校、永田小学校、永田台小学校、藤の木小学校、別所小学校、南小学校、南太田小学校、六つ川小学校、六つ川西小学校、共進中学校、永田中学校、平楽中学校、蒔田中学校、南中学校

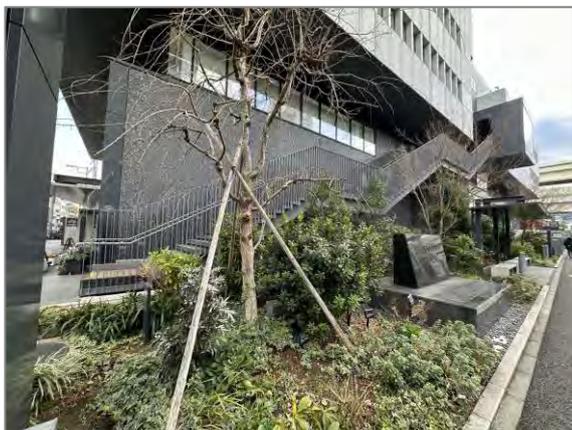
5 各区の実績  
南区



1 緑地保全制度による新規指定  
(中里三丁目特別緑地保全地区)



2 森の維持管理  
(大岡三丁目緑地)



17 公共施設・公有地での緑の創出・育成  
(南区庁舎)



18 街路樹による良好な景観の創出・育成  
(大岡川プロムナード)



23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり  
(永田南二丁目公園)



25 保育園での緑の創出・育成  
(区内保育園)